

雇用に関するアンケート調査の結果

商工労働観光部雇用対策・労働室

県では、このほど「雇用に関するアンケート調査」を行い、結果を取りまとめましたので概況を報告します。

記

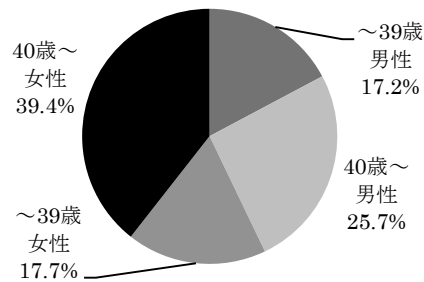
1 調査の目的

被災沿岸部における求職者がどのような仕事を希望しているのか、どれくらい就職活動をしているのか等、雇用に関する実態を把握することを目的とする。

2 調査の概要

- ①調査対象 沿岸部のハローワーク4所（宮古・釜石・大船渡・久慈）に訪れた男女
- ②調査方法 アンケート用紙への直接記入又は聞き取りによる調査
- ③調査日 平成23年11月29日
- ④回答者の属性

	計	男	女
釜石	70	31	39
宮古	105	57	48
大船渡	115	41	74
久慈	60	21	39
計	350	150	200
構成比		42.9%	57.1%



※調査結果は調査時点でのものであり、その後の雇用情勢の変化等を反映したものではない点に留意すること。

概況

○転居を伴わない現在の管内での勤務を希望する人が多数。

「現在の管内」を希望する割合が89.6%。

○雇用形態については、男性は「正社員」希望が圧倒的に多い一方、女性は「正社員」希望と「パート」希望がほぼ同数である。

【男性】「正社員」(74.3%)、「雇用形態にはこだわらない」(16.9%)

【女性】「正社員」(43.7%)、「パート」(42.7%)

○仕事を決めるときに、男性は「職務内容」と「給与額」を重視する傾向。女性は「職務内容」と「通勤距離や通勤時間」を重視する傾向。

【男性】「職務内容」(51.4%)、「給与額」(16.2%)

【女性】「職務内容」(49.2%)、「通勤距離や通勤時間」(26.6%)

○現時点で就職に至っていない理由として、「希望と合わないから」という意見が多いが、「以前勤めていた会社の再開を待っている」という声もある。

「希望と合わないから」(44.5%)が最も多い。「会社の再開を待っているから」と回答した割合は11.6%であったが、主な収入源は「休業手当」と回答した人は全体の27.0%。

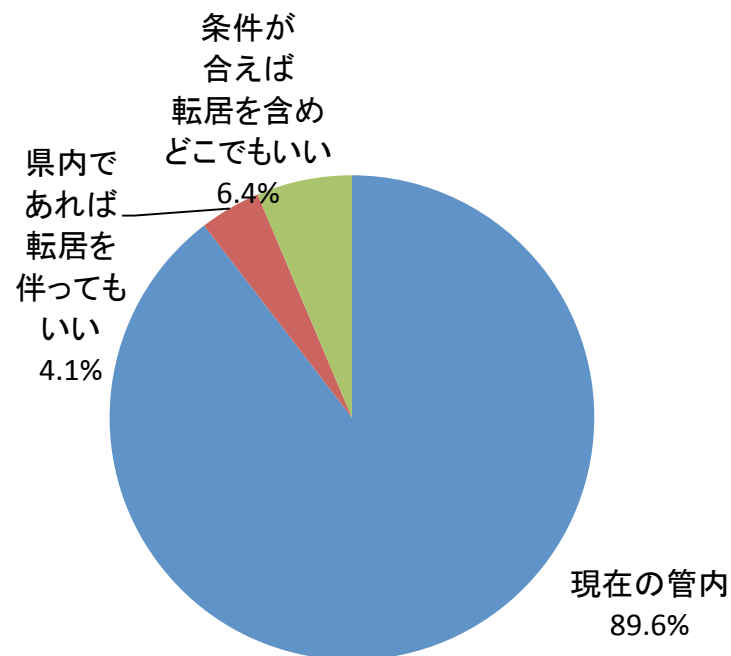
○回答者の約4割の主な収入源は「雇用保険」であり、ハローワークの利用頻度は「月に1回」が全体の約3割。

現在の主な収入源について「雇用保険」と回答した割合は39.9%。また、ハローワークへ通う頻度は「月に1回」という割合は34.1%。

雇用に関するアンケート調査の結果

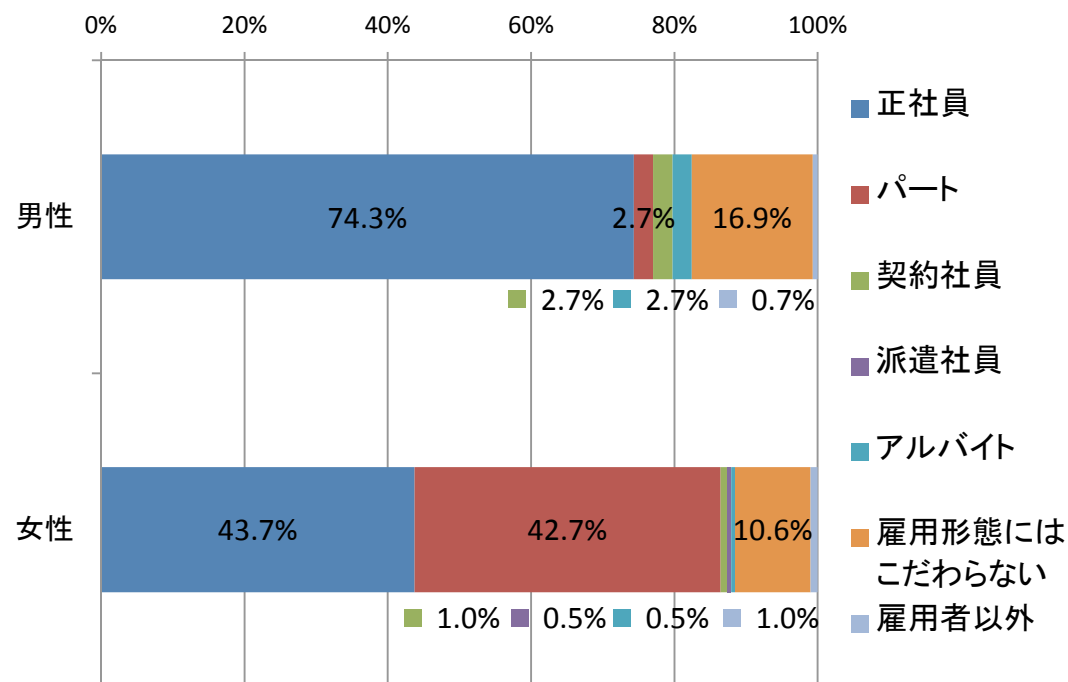
商工労働観光部雇用対策・労働室

Q.希望する勤務地について教えてください。



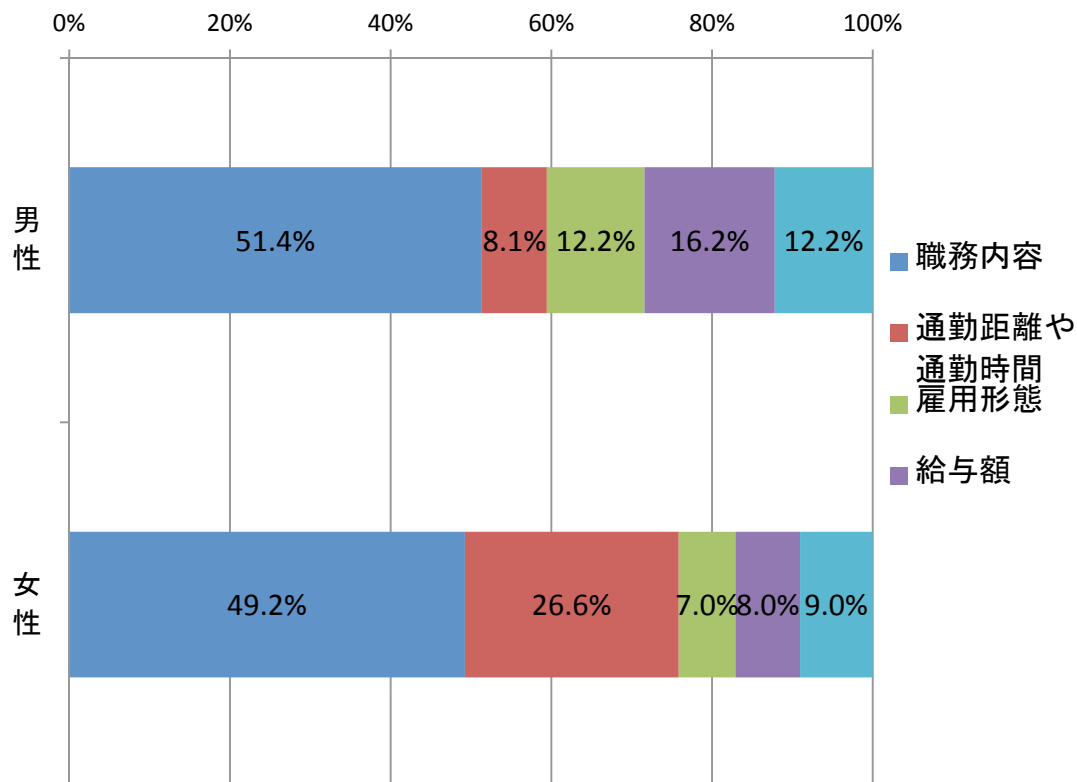
◎「現在の管内」を希望する割合は89.6%。

Q.希望する雇用形態を教えてください。



◎男性は「正社員」(74.3%)と「雇用形態にはこだわらない」(16.9%)が多い。
◎女性は「正社員」(43.7%)と「パート」(42.7%)が多い。

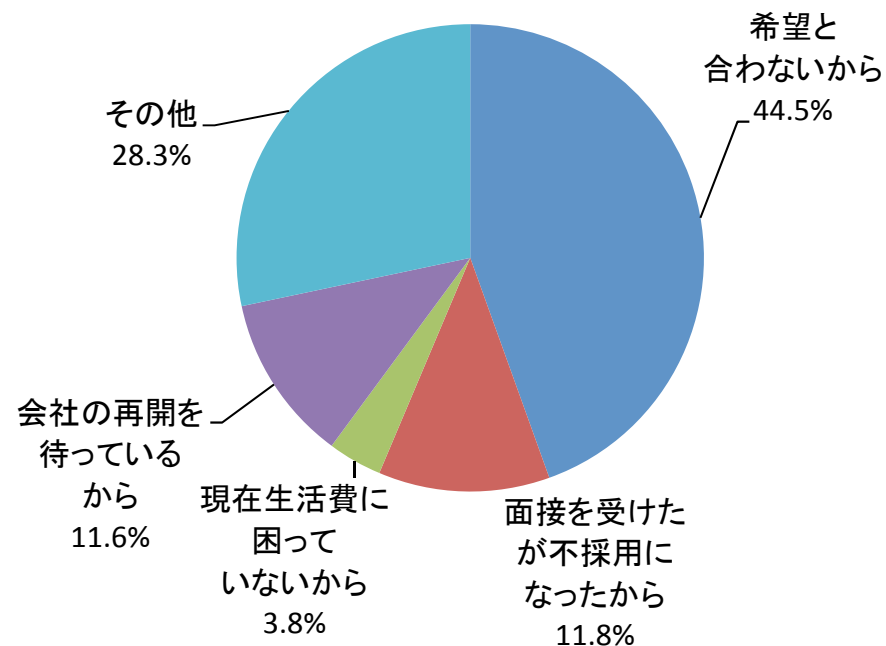
Q.仕事を決めるとき最も重視する点は何ですか。



◎男性は「職務内容」(51.4%)と「給与額」(16.2%)が多い。
 ◎女性は「職務内容」(49.2%)と「通勤距離や通勤時間」(26.6%)が多い。

その他
 ・勤務時間、休日 ・人間関係や会社の雰囲気
 ・保険・保障 等

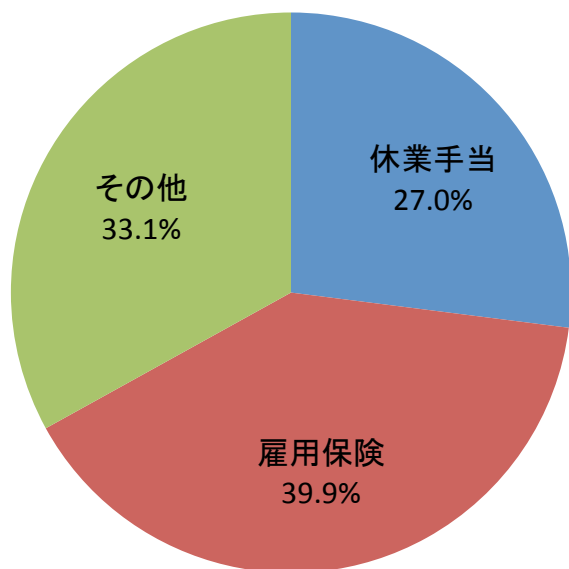
Q.現時点で就職に至っていない原因は何であるとお考えですか。



◎「希望と合わないから」(44.5%)が最も多く、「会社の再開を待っている」と回答した割合は11.6%。

その他
 ・内定・就職決定済み
 ・これから活動するところだから 等

Q.現在の主な収入源について教えてください。

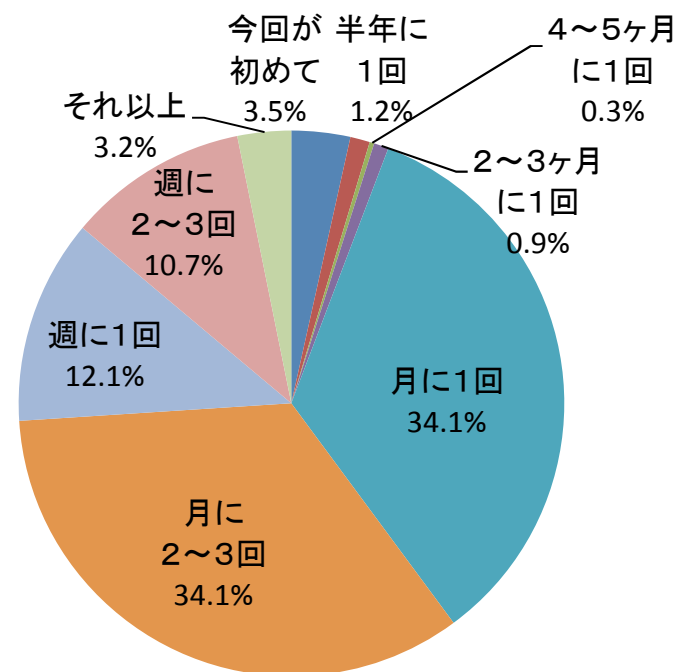


◎39.9%の人が「雇用保険」を、27.0%の人が「休業手当」を主な収入源として生活している。

その他

- ・預金の取崩
- ・年金
- ・家族の収入
- ・収入なし
- ・アルバイトでの収入
- ・実家で生活 等

Q.ハローワークへはどれくらいの頻度で通っていますか。



◎「月に1回」(34.1%)、「月に2~3回」(34.1%)が多い。